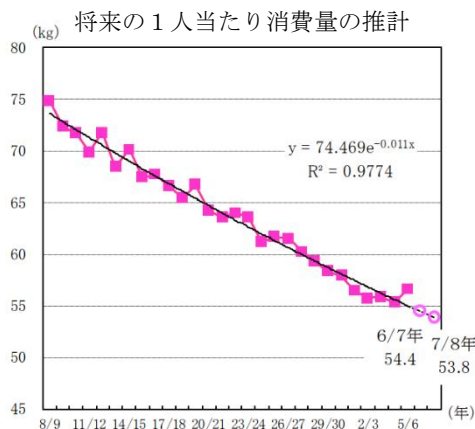


令和7年産主食用米の生産目安 参考情報

兵庫県農業活性化協議会作成

1 全国の米の需要動向(令和6年10月「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より)

平成20年をピークに人口が減少局面に入ったことを踏まえ、より実情に即した需要見通しを算出する観点から、平成30年産から1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じて算出される。



将来の1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

		6/7年	7/8年
1人当たり消費量(推計値) ①		54.4kg	53.8kg
		6年	7年
人口(推計値) ②		123,780千人	123,198千人
		6/7年	7/8年
需要見通し ①×②		673.7万トン	663.4万トン

2 全国の令和7/8年の需給見通し(令和6年10月「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より)

令和7/8年主食用米等需要量は663万トンと見通され、令和7年産主食用米等生産量の見通しは、令和6年産の生産実績(令和6年9月25日現在の令和6年産水稻の予想収穫量(主食用))と同水準の683万トンと設定。結果、令和8年6月末の民間在庫量は、182万トンと見通されている。

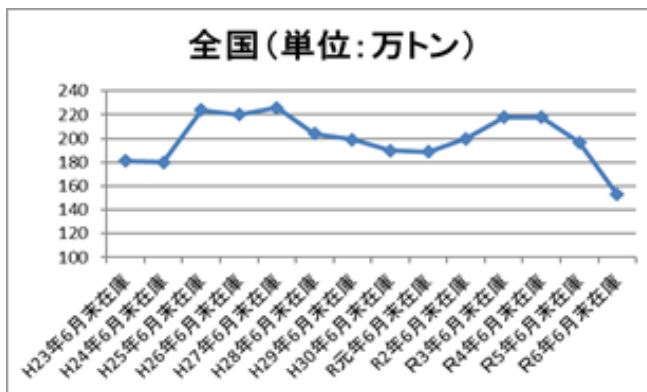
令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	162
	令和7年産主食用米等生産量	F	683
	令和7/8年主食用米等供給量計	G = E + F	846
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663
	令和8年6月末民間在庫量	I = G - H	182

(単位:万トン)

3 米の6月末在庫状況(令和6年10月「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より)

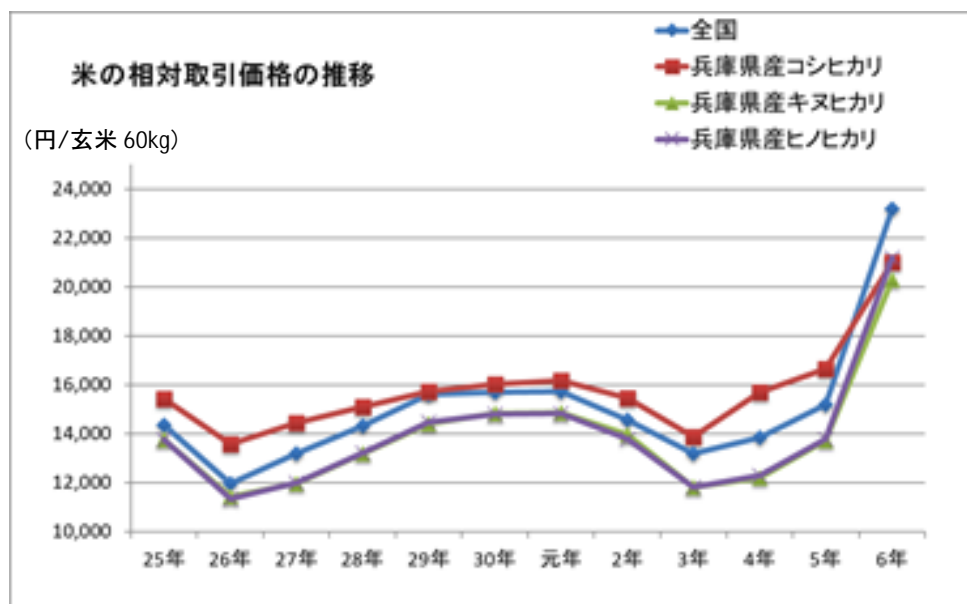
「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針(令和6年10月 農林水産省)」より、6月末時点の民間在庫の推移(全国・兵庫県)は以下のとおり。

全国・兵庫県ともに、令和6年6月末時点の在庫は前年より大きく減少している。



4 米の価格動向(全銘柄平均と県産米との出荷業者と卸売業者との間での相対取引価格の比較)

令和元年以降、相対取引価格は下落が続いていたが、令和5年産米の端境期の品薄状況の顕著化による価格高騰の影響が続き、令和6年産米は 20,000 円/60 kgを超える価格で取引されている。



※ 6年産の価格は、出回り～6年 10 月の平均価格。

【出典:米に関するマンスリーレポート 11 月号(農林水産省作成・公表)】

◇兵庫県農業活性化協議会では、令和7産米の作付判断の参考としていただけるよう、主食用米の生産目安と併せて、米の生産をめぐる国・県の情報を提供しております。地域の関係者や生産者の皆様には、これらの情勢を注視しながら、最寄りのJAや集荷業者等と早めに御相談いただき、売り先・行き先を確保した米の生産に取り組んでいただきますようお願いいたします。